

地域とお客さまの発展のために



● TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言への賛同表明

近年、世界中で異常気象や自然災害による被害が甚大化するなど、当行が基盤とする地域においても企業経営に大きな影響を及ぼす可能性が高まっており、当行はこれまで以上に「気候変動への対応」を重要な経営課題と捉え、対応に取り組んでいく必要があると認識しています。

当行グループは、2021年1月に「南日本銀行グループSDGs宣言」を制定し、地域とともに持続的に成長していくことを目指し取り組んでいますが、こうした状況を踏まえ、気候変動がお客さまや当行グループに与える影響を的確に把握するとともに、気候変動に関する有用な情報をステークホルダーの皆さまに提供することを目的とし、2023年5月にTCFD提言に賛同しました。

1. ガバナンス

気候変動対応WGをはじめとする各執行機関において全行横断的な協議を行うとともに、サステナビリティ委員会にて各施策への取組状況等について協議を行い、管理しております。

2. 戦略とリスク管理

気候変動リスクを当行の事業・財務に影響を及ぼす重要なリスクとして認識しています。今後、シナリオ分析を実施するなど、気候変動関連リスクが財務に与える影響の把握に努め、リスク管理体制の構築に向け検討を進めております。

3. 指標と目標

気候変動への対応として、自社のCO₂排出量を算定し削減に向け取組みを進めています。削減状況については、以下のとおりですが、具体的な目標値については、今後の環境に関する政策や当行の戦略等を踏まえ、設定する予定となっております。

■CO₂排出量(SCOPE1・2)の過去3年間の実績推移(南日本銀行) (単位:t-CO₂)

	2020年度	2021年度	2022年度
SCOPE1(ガソリン、LPG、都市ガス)	244	218	207
SCOPE2(電気)	1,174	1,236	1,012
合計	1,418	1,454	1,219

● キャッシュレス決済アプリ“Payどん”事業への参画

当行、鹿児島相互信用金庫ならびに鹿児島銀行は、「Payどん事業に関する基本合意書」に基づき、“Payどん”を活用したキャッシュレス事業について、共同で準備を進め、2023年10月16日より、三行庫で事業を開始いたしました。

あわせて、更なる地域のキャッシュレス化の促進に向けて、鹿児島信用金庫とも協議を行い、本事業の趣旨に賛同いただき、基本合意書を締結しました。

四行庫が協力して本事業に取り組むことで、キャッシュレスの一段の普及とともに地域内における資金循環を促進し、地域の更なる経済活性化に取り組んでまいります。



【左から鹿児島相互信用金庫:永倉理事長、当行:田中頭取、鹿児島信用金庫:市川理事長、鹿児島銀行:松山頭取】



地域とお客さまの発展のために

● 創業110周年記念事業について **110th**

当行は、2023年9月4日をもって、創業110周年を迎えました。これもひとえに、これまでの当行の発展に尽力された先輩方と現役職員、そして永きにわたり当行をご愛顧いただきましたお客さま・地域社会・株主の皆さまの温かいご支援の賜物であると深謝いたします。

この110周年を節目として、役職員一人ひとりがパーパスと向き合い、次の120周年に向けて、今年度から開始している中期経営計画のもと、WIN-WINネット業務を中心とした本業支援の深化と新しい取組みへの挑戦により、地域に根ざした銀行として、お客さまとともに歩んでいきたいと思っております。

そういった取組みの一環として創業110周年記念事業を実施いたしましたので、その一部をご紹介します。

【企業版ふるさと納税を実施】

企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）は、自治体の地方創生事業を応援する制度であり、持続的な地域発展のために、企業が寄附を通じて自治体の地方創生への取組みを応援するものです。

当行の創業の地である霧島市が、寄附対象事業として取組む「訪れたいまちづくり推進事業」における文化財保全・保護活動に賛同し、当行創業者の高木邸の鹿児島神宮への移築事業等の文化財保護に向け、「企業版ふるさと納税」による寄附を実施いたしました。



【感謝状贈呈式の様子：左から中重市長、田中頭取】

【燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会への協賛】

地元鹿児島におけるスポーツ振興及び地域経済の活性化に向けて、2023年10月に開催された「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」に対して、オフィシャルスポンサーとして寄附・協賛を実施いたしました。



【国の登録有形文化財である本店建物の夜間ライトアップ】

当行の本店建物は、前身の鹿児島無尽の鹿児島支店として1937年に建設されました。戦前に建築された、鹿児島で存在する石造りの建物の中でも初期のものであり、1998年に「国の登録有形文化財」として登録されています。

夜間に通りを歩く方への配慮や、夜間景観の魅力向上による観光振興の一助となることを目指し、ライトアップを開始いたしました。



【サステナブルの考えのもと、少ない消費電力となる LED式ライトを採用】

地域とお客さまの発展のために

● 主要な業務内容

預金業務 当座預金、普通預金、貯蓄預金、通知預金、定期預金、納税準備預金等を取り扱っております。

融資業務 手形貸付、証書貸付、当座貸越を取り扱っております。また、手形の割引(商業手形等の割引)を取り扱っております。

内国為替業務 送金為替、代金取立等を取り扱っております。

証券業務 国債等公共債の売買業務を行っております。

附帯業務 損害保険及び生命保険の窓口販売などを行っております。

WIN-WINネット業務 中小規模事業者のお取引先に対して、新たな販路開拓や事業運営方法の改善を行っております。

● 南日本銀行のあゆみ

1913 (大正 2)年	9月	●同仁貯金合資会社設立(創業) ●本店/鹿児島県始良郡東国分村(現霧島市国分広瀬)	2001 (平成13)年	4月	●損害保険商品窓口販売開始
1936 (昭和11)年	4月	●鹿児島無尽株式会社に組織変更	2002 (平成14)年	10月	●生命保険窓口販売開始
1937 (昭和12)年	5月	●鹿児島支店(現本店の旧館)新築落成	11月	●ダイレクトローンセンター業務開始	
1943 (昭和18)年	11月	●鹿児島無尽株式会社、 鹿児島相互無尽株式会社合併設立	2003 (平成15)年	8月	●四半期情報開示開始
1951 (昭和26)年	10月	●相互銀行法施行に伴い、 株式会社旭相互銀行に商号変更	2004 (平成16)年	6月	●執行役員制度導入
1953 (昭和28)年	11月	●内国為替取扱開始	10月	●決済用普通預金取扱開始	
1958 (昭和33)年	10月	●旭相互銀行健康保険組合発足	2006 (平成18)年	4月	●本店が鹿児島市より「環境管理事務所」に認定
1960 (昭和35)年	1月	●日本銀行と当座取引開始	2008 (平成20)年	10月	●なんぎん住宅ローンセンター開設
1962 (昭和37)年	12月	●日本銀行歳入代理店事務取扱開始 ●旭ビルディング(株)設立	2009 (平成21)年	3月	●第三者割当方式によるA種優先株式150億円発行 ●資本金166億1百万円
1963 (昭和38)年	4月	●旭保養センター完成	5月	●なんぎん個人相談プラザ開設	
	9月	●創業50周年	11月	●花棚支店開設(2010年3月移転オープン)	
1967 (昭和42)年	12月	●本店増改築落成	2010 (平成22)年	3月	●熊本支店(河原町支店及び熊本市場支店を統合後) 熊本営業部へ昇格
1973 (昭和48)年	3月	●資金量1,000億円突破	2011 (平成23)年	4月	●ミナネット支店開設
	6月	●行内報「あさひ」創刊(現在の「みなみ」)	10月	●WIN-WINネット業務開始	
	11月	●両替業務取扱開始	2012 (平成24)年	5月	●種子島支店リニューアルオープン(新築移転)
1976 (昭和51)年	9月	●為替オンラインシステム稼働	10月	●西谷山出張所開設(2013年4月移転オープン)	
1977 (昭和52)年	3月	●資金量2,000億円突破	11月	●withyouプラザ開設	
	8月	●第1次オンラインシステム稼働	2013 (平成25)年	8月	●イメージキャラクター「わっせかくん」決定
1979 (昭和54)年	2月	●全銀データ通信システム加盟	9月	●創業100周年	
1980 (昭和55)年	4月	●外国為替業務取扱開始	●上川内出張所開設(2014年2月移転オープン)		
	5月	●「旭相互銀行史」発刊	2014 (平成26)年	4月	●伊集院支店リニューアルオープン(新築移転)
	11月	●旭霧島荘オープン	9月	●西田支店オープン(城西支店と宮田通支店を統合)	
1981 (昭和56)年	5月	●旭ボランティアサークル結成	2016 (平成28)年	3月	●笠之原支店リニューアルオープン(新築移転)
	6月	●資金量3,000億円突破	10月	●紫原支店リニューアルオープン(新築移転)	
	●相銀ワイドサービス(SCS)取扱開始	2017 (平成29)年	5月	●上町支店リニューアルオープン(新築移転)	
1982 (昭和57)年	8月	●金の売買業務取扱開始	9月	●東京支店リニューアルオープン	
1983 (昭和58)年	4月	●国債窓口販売業務開始	2019 (平成31)年	1月	●新動定系システムの稼働開始
	12月	●資金量4,000億円突破	2019 (令和 元)年	8月	●福岡支店リニューアルオープン
1984 (昭和59)年	3月	●南九州サービス(株)設立	2月	●安房支店を屋久島支店内に移転統合(店舗内店舗)	
1985 (昭和60)年	7月	●旭ファイナンス(株)設立(現なんぎんリース(株))	3月	●宮崎支店リニューアルオープン(移転)	
	12月	●自由金利型定期預金の取扱開始	4月	●玉名支店を熊本営業部内に移転統合(店舗内店舗)	
1986 (昭和61)年	6月	●旭ビジネスサービス(株)設立	2021 (令和 3)年	1月	●「南日本銀行グループSDGs宣言」の制定
1987 (昭和62)年	4月	●鹿児島ネットサービス(KNS)取扱開始	9月	●第三者割当方式によるB種優先株式85億円発行 ●資本金208億51百万円	
	6月	●公共債ディーリング業務取扱開始	●下甌支店を甌島支店内に移転統合(店舗内店舗)		
	7月	●あさひニュービジネスクラブ(ANBC)設立	10月	●明和出張所を西田支店内に移転統合(店舗内店舗)	
	10月	●福岡証券取引所に株式上場	11月	●天文館支店を本店営業部内に移転統合(店舗内店舗)	
	11月	●旭相互銀行厚生年金基金設立	2022 (令和 4)年	9月	●資本金133億51百万円
1988 (昭和63)年	11月	●南日本銀行VI発表 (シンボルマーク、ペットネーム「フレッシュバンク」を制定)	2023 (令和 5)年	1月	●A種優先株式150億円を取得・消却
1989 (平成 元)年	2月	●普通銀行に転換、南日本銀行に商号変更 ●(社)全国銀行協会へ加盟	●企業理念体系の再定義および「バーパス」、 「なんぎんウェイ2023」、「コーポレートメッセージ」の制定		
	●東京支店、東京事務所開設	4月	●株式会社なんぎんキャピタル設立		
1990 (平成 2)年	3月	●アサヒエステート(株)設立	●東京支店リニューアルオープン(移転)		
	8月	●南日本バンクカード(株)設立	5月	●「TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言」への 賛同を表明	
	12月	●イメージキャラクター「なんちゃん・ミミちゃん」決定	●第1次中期経営計画公表		
1991 (平成 3)年	1月	●テレビ広告開始	9月	●創業110周年	
	6月	●里村指定金融機関事務取扱開始	●地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)による創業地霧 島市への寄付		
1992 (平成 4)年	3月	●本店営業部全面改装	●「かごしま市健康づくりパートナー」への登録		
1994 (平成 6)年	4月	●地元5行庫による店舗外現金自動設備の共同利用開始	10月	●地元3行庫による「Payどん」を活用したキャッシュレス事業 開始	
1996 (平成 8)年	11月	●本店営業部・県庁出張所開設	11月	●「かごしま『働き方改革』推進企業」の認定取得	
1997 (平成 9)年	3月	●「なんぎん産学交流支援サービス」取扱開始	12月	●国の登録有形文化財である本店建物の夜間ライトアップ 開始	
1998 (平成10)年	12月	●本店の建物が県内初の登録有形文化財に登録			
1999 (平成11)年	3月	●郵便局とのATM(CD)相互利用開始			
	9月	●証券投資信託の窓口販売業務取扱開始			
2000 (平成12)年	3月	●第三者割当増資により資本金91億1百万円			